

TOPIC

# 2

ものづくりの楽しさをとことん実感しよう

## 溶接・板金

—— 工業技術分野 ——



### 修了生のことば

#### 大久保 俊さん

- 溶接・板金コース
- 就職先：株式会社クボテック 伊勢原工場



#### 技術校に入校したきっかけは？

就職活動でハローワークを訪れた際に、かなテクの学校案内を目にし、案内を手にとったことがきっかけです。

#### 技術校に入校するにあたり不安はありましたか？

ものづくりは好きでしたが、初めてのことであったので仕事としての技術が身につくのか、という不安がありました。

#### 訓練の中で、印象に残っていることはありますか？

レーザー加工機を目にした時は、こんなものがあるのかと驚きました。また、指導員がとても良い方で、教え方はもちろん、質問には何でも答えてくれました。

#### かなテクの就職へのサポートはどうでしたか？

勤務地等を含め、技術校生に合った就職先を指導員から勧めてくれるなど、技術校生のことを考えたサポートをしてくれます。

プライベートでも付き合っていける仲間ができました。人間関係についてもかなテクで学べました！



#### 溶接・板金の魅力を教えてください。

駅の手摺や公園の遊具など、溶接の技術が使われている物は、意外と身近にあり、そういったものを自分が作っているという意識が生まれると、より溶接が楽しくなります。

#### 今後技術校に入校する方へのメッセージをお願いします。

専門的な知識を学べる場としては非常に有効で、就職したいという意思がある人にとって、かなテクは一番の近道だと思います。

学校案内を見た時、溶接をしている姿が格好よく見えました！

### 【コースについて】

#### 溶接・板金コース

かなテクカレッジ西部  
溶接・板金分野担当 越川 慶介



家の中にある電子機器から普段利用する交通機関に至るまで、私たちの生活を支えるモノには本当に多くの金属が利用されています。それらの金属を加工するうえで欠かせない技術が溶接・板金です。溶接と聞くと溶接面をしながら火花を飛ばし、ダイナミックな作業を思い浮かべる人がほとんどだと思います。しかし、実際はとても繊細で、数ミリの溶かした金属の中に欠陥が出ないように、呼吸すらも小さくし、手元がぶれないように溶接していきます。男性だけでなく女性の修了生も現場で活躍中です。未経験の方を対象として1から丁寧に指導していきますので、モノづくりの醍醐味を学びに来てください。

当社は、「電源装置」「制御盤」「分電盤」を製造するメーカーです。2020年10月に創業55年を迎えました。人の手でしかできない仕事、モノづくりへのこだわりがなければ実現できない高品質なモノづくりを追求し続けています。設計から板金、組立、検査、さらにアフターフォローまでを一貫して手掛けることで、高品質・ハイスピード・低コストのモノづくりを実現しています。大久保さんは西部校の溶接・板金コースを修了し入社しました。配属された板金係で諸先輩がいる中で頭角を現し3年で主任になりました。学校では溶接作業の基本はもちろん、楽しみや難しさも学んだと話していました。一番はモノづくりが大好きと言うことが、彼の成長を後押ししたと思います。さらなる成長を期待しています。

### 企業社長メッセージ



株式会社クボテック  
代表取締役社長 窪嶋 竜一 様